

## 気道異物による窒息に対する多施設前向き観察研究

2021年2月から2022年2月までに気道異物による窒息のために治療を受けた患者さん

## 研究協力をお願い

当科では「気道異物による窒息に対する多施設前向き観察研究」という研究を行います。この研究は、2021年2月1日より2022年3月31日までに日本医科大学千葉北総病院の救命救急科にて、気道異物による窒息のために治療を受けられた患者さんを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

## (1) 研究の概要について

研究課題名：気道異物による窒息に対する多施設前向き観察研究

研究期間：2021年2月1日～2023年3月31日

研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 救命救急科 太田黒 崇伸

## (2) 研究の意義、目的について

気道異物による窒息で救急搬送された患者を対象に多施設共同前向き観察研究を行い、本邦における窒息の現状を把握し、応急手当や治療に関するエビデンスを提供することを目的とします。

## (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年2月1日より2023年3月31日までに日本医科大学千葉北総病院救命救急科にて治療を受けられた患者さんの受けた応急手当や治療、転帰などを解析し、検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：患者背景（年齢、性別、既往歴、生活歴、ADL、介護度など）、プレホスピタルの情報（発生状況、時間経過、現場でのバイタルサイン、異物の種類、閉塞部位、心肺停止の有無、気管挿管の有無、アドレナリンの投与量など）、治療法（気管挿管、低体温療法）、転帰（発生30日後のCerebral performance category scale）など

## (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

## (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

## (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 救命救急科 助教 太田黒 崇伸

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

電話番号：0476-99-1111（代表） 内線：2324

メールアドレス：t-otaguro@nms.ac.jp